

令和5年度

保土ヶ谷地区幼保小 教育交流事業活動報告

保土ヶ谷区のテーマ

- ・ 幼稚園、保育園、小学校の交流を通して、お互いのことを理解し合い、心を通わせて関わることの楽しさを実感することができる。
- ・ 幼稚園、保育園、小学校の交流を通して自分ができるようになったことなど、自分の成長に気づくことができる。

(1)保土ヶ谷地区幼保小教育交流事業の内容

実行委員会

第1回 4月 27日

役員顔合わせ、役割分担、年間計画

第2回 5月 8日

全体会打合せ

第3回 7月 3日

ブロック別保育参観、子育て講演会について

第4回 1月 12日

全体会、会計処理、園長校長会について

第5回 3月 4日

次年度の方向性、運営・活動の振り返りと課題

全体会

第1回 5月 8日

年間活動計画報告と教職員顔合わせ、
ブロック別交流の計画打合せ

第2回 1月 12日

ブロックごとの振り返り・活動報告

第3回 2月 6日

ブロックごとの振り返り・年間活動報告

すこやか子育て講演会

10月12日 保土ヶ谷公会堂

『絵本「ヒラベッタイ・ザウルス
うまれるよ?!」から見る
今、求められている学びのヒント』

保育参観

各保育園
各ブロックごと

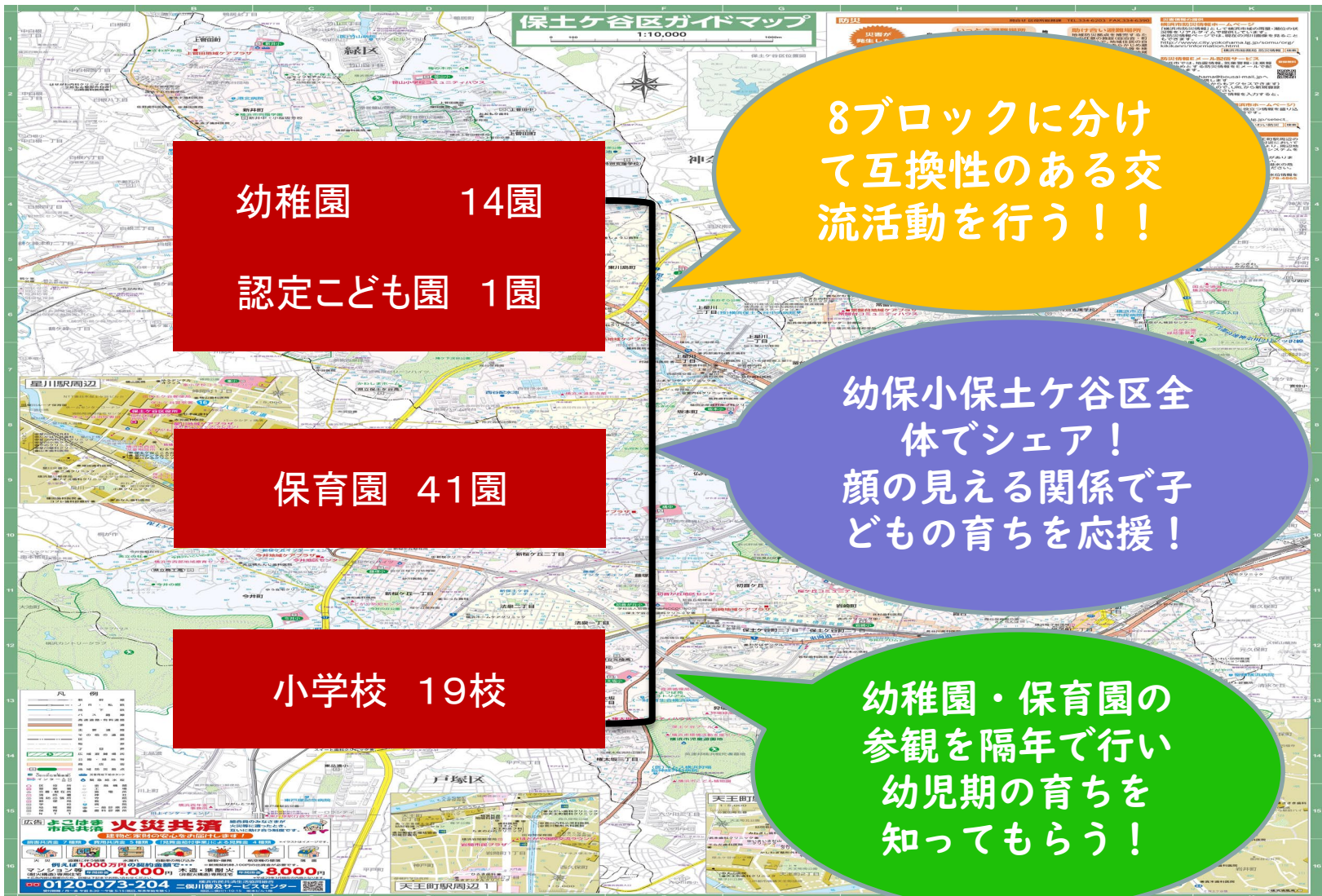
一斉授業研究会

①11月15日②1月17日
各小学校

園長校長交流会

2月6日

(2) 保土ヶ谷地区幼保小教育交流事業の特徴



保土ヶ谷区ガイドマップ

(3)各ブロックの取組

	小学校	幼稚園 (認定こども園含)	保育園
Aブロック	2校	2園	2園
Bブロック	1校	2園	4園
Cブロック	1校	1園	5園
Dブロック	3校	2園	4園
Eブロック	3校	2園	10園
Fブロック	2校	3園	6園
Gブロック	3校	0園	7園
Hブロック	4校	3園	3園

令和5年度 幼保小教育交流事業報告 Aブロック

桜台小学校
セントメリー幼稚園
ゆめの樹保育園

岩崎小学校
保土ヶ谷幼稚園
霞台保育園

☆活動内容

【桜台小学校】

- ・全学年が園児と交流できるように計画を立て、年間を通して交流を行った。
- ・学校案内や運動会のダンスを発表するなどの交流をした。

【岩崎小学校】

- ・1年生が4園と交流を行った。（12月・2月）
- ・12月の交流では、生活科の学習で考えた遊びを紹介して、一緒に遊んだ。2月には、園児が小学校入学に期待をもてるように少人数で活動したり、みんなでゲームをしたりして、交流を深める計画を立てている。



成果と課題

【成果】

- ・年度初めに各園各校の年間予定を伝え合ったことで、計画的に交流を実施できた。
- ・児童は、園児との交流の仕方を考えるときに、相手意識をもって活動することができた。
実際の交流では、優しい声かけや思いやりのある接し方ができ、成長が見られた。
- ・園児は、少しではあるが小学校へのイメージをもつことができた。小学校入学を楽しみにする姿も見られるようになった。

【課題】

- ・小学校と園があまり近くないので、移動だけで時間がかかる。
→小学校を会場とする交流だけではなく、園や公園などでの交流もできるのではないか。
- ・日頃の学校の様子が分かる活動があってもよい。
→授業の様子の参観や体験ができると、より小学校生活をイメージすることができるのではないか。

令和5年度 保土ヶ谷区 Bブロック活動報告書

本校教育目標

「ほっとな みらいへ 3C」



- ① **C**reative ⇒ クリエイティブ(そうぞうしよう)
- ② **C**hallenge ⇒ チャレンジ(ちょうせんしよう)
- ③ **C**ommunication ⇒ コミュニケーション
(かかわりあおう)





**10月 活動スタート
であい**

**学校探検
ゲーム
1年生体験**



**ゲーム
ランドセルづくり**



**11月 土曜参観
保育園参観
学び合い**

**制作
おもちゃランド**



**幼稚園訪問
公園交流**



**2月
5年生
よろしくね
であい**



**12月 訪問
共生**

【昨年度の課題】

・1校6園となると小学校の負担が大きい。

→ペアグループをつくり、職員の役割を分担

- それぞれの園が行いたい交流の実現
- 互いの指導の仕方や声掛けが学び合えた。
- 園同士の協力体制の高まりにつながった。

→スタートカリキュラムのより充実に。



【今年度の成果】

・小学校だけでなく、園庭や地域の公園で交流ができた。

・昨年度よりも交流会数を減らしたが、1回の交流に小学校の授業カリキュラムを取り入れながら行うことができた。

・グループ外の保育園・幼稚園の交流の場として、土曜参観を公開した。(おもちゃランド)



Cブロック幼保小教育交流活動報告

☆帷子小学校
☆スカイハイツ幼稚園
☆岩間保育園
☆天王町保育園

☆保土ヶ谷保育園
☆星川もえぎ保育園
☆にじいろ保育園天王町



活動の内容と報告

○第1回交流

これから交流を始めるにあたり、小学校から「これからよろしくね」の気持ちを込めたお手紙の送付。

1年生が園に訪問し、歌の発表、年長児は各園発表、最後は一緒にじゃんけん列車をして交流した。

○第2回交流 小学校訪問

年長児が1月から2月の間に小学校を訪問し、1年生および、2・5年生と交流。内容は、1年生体験、2年生企画（図工で作ったおもちゃで遊ぶ）、5年生企画（授業体験）など。

小学校に関するお題と絵を描いたカルタを作成。入学前に遊べるように2月末までに各園に届ける予定。



成果と課題

成果

- ・今年度は、園児と児童が、実際に顔を合わせての交流が2度できたのがよかった。
- ・1年生だけでなく、2年生や来年度6年生になる5年生とも交流することで、園児の学校に対する安心感にもつながった。
- ・小学校の1日の様子を動画にして紹介したことによって、年長児は小学校での生活をイメージすることができた。また、小学校に対する興味がなかった園児も興味をもち始めた。
- ・園児との交流を通して、1年生はもうすぐ2年生になる自覚が芽生えた。と、同時に、年長児に手本を見せるためにもっときれいな字を書いたり、教科書を読むことを頑張らなければならないような良い刺激も受けた。
- ・1年生は、小学校では、いつもお世話してもらう側だが、自分たちが年上としてお世話する側になるのは、とてもいい経験になったため、今後も幼保小交流を続けていきたいと思う。

課題

- ・小学校が1校に対して、交流する園が6園あり予定を調整することや連絡を取ることがかなり難しかった。連絡は、FAXではなくメールを利用し、交流の企画も小学校からの提案だけでなく、園からも提案をするなど、分担して行う形にしていきたい。
- ・直接交流を継続的に行うことで幼保小連携が取れるため、今後も継続しておく。予定に関しては年度当初にある程度決めておくとうい。

幼保小教育交流事業 Dブロック活動報告



今井小学校

- ・2年生、1年生、年長
→生活科、レク
- ・1年生、年長
→学校探検
- ・5年生と年長
→給食交流



藤塚小学校

- ・運動会練習見学
- ・生活科「秋遊び」
- ・国語「これはなんでしょう」



仏向小学校

- ・小学校参観(園の先生)
- ・幼稚園園庭見学
- ・国語「くちばし」
- ・運動会練習応援
- ・年長さんニコニコ会

【成果】

- ・リーダーとなる姿
- ・相手意識をもって行動する姿
「年長さんが来たら、いろいろ教えてあげたい。」
「年長さんのために～」
- ・小学校参観を通して、子どもの姿での幼保小交流が活発に。
- ・授業以外の様々な場面を見せて、ハードルが下がる。

【課題】

- ・継続的な交流
→日頃の授業を一緒に行くなどを
選択肢に入れ、回数を重ねられると
いい。
- ・年間を見通した幼保小交流
→交流の計画を年度始めに立てておくと、双方で予定が組みやすい。
- ・交流回数を増やす
→遊び、運動会見学などの無理のない
気軽な交流。

Eブロック活動報告



あきまつりに
ごしょうたい

1年生は、保土ヶ谷公園の遠足や学校の敷地内、近くの公園で秋の葉や実を集めました。そして、オナモミ的あてや、まつぼっくりのけん玉、どんぐりを使ったマラカスやでんでん太鼓、どんぐりゴマ、秋の葉を使ったお面などを作りました。



「がっこうは
たのしいよ」のかい

学校の色々な場所をグループごとに案内し、最後は教室に戻ってきて、ランドセルを背負わせてあげたり、教科書を見せてあげたりしました。年長児の立派な姿に感心しつつも、お兄さん、お姉さんになって優しくサポートする姿が見られました。



7月 保育参観

2園の保育参観を行いました。皆で集まって話し合う場所を確保することが困難であったため、自由に園を参観して、その後、アンケートを取る形で参観をしました。



1年生の学習を
園の友達と
一緒にやってみよう！

年長児と一緒に1年生の授業に取り組みました。年長児は4月からの授業の様子を感じることができ、とてもいい交流ができました。

- ① 図工「いっぱい つかって なにしよう」(たくさんのカプラを使って造形遊び)
- ② 図工「でこぼこ はっけん」(パスを使って、校内のでこぼこでこすりだし)
算数「かたちあそび」(空き箱をつかって、形をうつしとる)
- ③ 国語「ものの 名まえ」(物の名前カードをつくって、おみせやさんごっこ)

【成果と課題】

《成果》

- 夏休みの保育参観で、保育園の様子を見られてよかった。就学前にどんなことをしているかを知ることが出来、接続期の参考になった。
- お散歩ついでに園便りを届けに小学校へ行く活動がよかった。事前に連絡調整などの必要もなく、園児と共に学校の様子を感じる事ができた。
- 小学校の授業へ参加させてもらうことがとてもよかった。学校でどんなことをするのかを知ることができ、子ども達は楽しそうだった。帰ってからも図工の授業でやった「こすりだし」をするなど、学んできたことに進んで取り組んでいる様子が見られた。
- ゴールデンウィーク明けと夏休み明け園の先生方による1年生への読み聞かせを行った。長期休み明けに登校が不安になる児童もいる中で、園の先生方が手遊びなども交えて、優しく穏やかな時間を作ってくださって、とてもよい時間になった。

《課題》

- △いろいろ交流したい気持ちがあるが、お互いの行事等があり、日程の調整が難しかった。
- △距離があり、移動が大変だった。（雨、寒さなどがあると移動が大変。）

交流の様子

Fブロック（常盤台小学校）

9月 保育参観（和田愛児園にて）

11～12月 1年生が「秋遊び」に招待し、小学校で交流
（和田愛児園・にじいろ保育園上星川・森のルーナ保育園）

12～1月 2年生がおもちゃランドに招待し、小学校で交流
（育和幼稚園、ひかりの風保育園）

2月 1・5年生と小学校で学校探検、一年生体験などを行う予定。
（全園）



Fブロック（峯小学校）



4月 職員顔合わせ

7月 近況報告、交流日程打ち合せ

11月 1年生の生活科発表(あきあそびで交流)

（峯岡幼稚園・GENKIDS星川保育園・ラフクルー星川保育園と）

1月 年長児と1年生で新入生たいけん

2月 3年生と音楽交流、振り返りと引継ぎ

成果と課題

〈成果〉

(常盤台)・保育参観では、園の子どもたちの様子や、先生方の子どもたちとの関わり方を実際に見ることができ、大変貴重な学びとなった。

・1・2年との交流では、生活科の学習を生かした交流を行った。「年長さんに楽しんでもらいたい」という思いをもって活動する姿が見られた。「もっと一緒にいたい。」「また交流したい。」という思いが自然と溢れ、直接会う交流のよさを実感した。

(峯)・1年生は「あきあそびの交流会」を行った。1年生としては峯の子祭という行事に向かって進めていく中で、相手意識をもって取り組むための学習的な面、園児としてはいろいろなものに触れながら楽しく遊ぶという活動的な面でマッチしていてよかった。1年生が園児に優しく接したり分かりやすく説明したりするなどの成長も見られた。

・年長児との新入生体験の交流を通して、1年生自身も「もうすぐ2年生だ」という意識が芽生えるきっかけになった。

〈課題〉

(常盤台)・保育参観を通して、園の先生方から学ぶことがたくさんあった。小学校からの参加者が少なかったのがもったいないと感じた。

→園の先生方の「子どもど真ん中」のマインド・子どもへの関わりは、小学校教員にも大切なものなので、来年度は参加者を増やし、学んだことを校内に広げるようにしたい。

(峯)・新入生体験の日程が1月で年明けのバタバタしているときに行ってしまったので、準備が十分に取れなかった。

→日程を遅らせる。

・新入生体験で小学校側が考えた内容だけでなく、幼稚園・保育園の子たちが何を体験したいかを事前に聞いて、その内容に合わせて準備して、より実りのある活動にしたい。

令和5年度 Gブロック活動報告

上菅田笹の丘小学校

【取組】

1月 1年生と小学校体験

- ・ 学校紹介クイズ ・ ランドセル体験
- ・ 給食や掃除についての説明
- ・ 一緒にゲームなど



2月 5年生と学校探検

- ・ 校内探検
- ・ レクリエーション



成果と課題

【成果】

- ・今年度は、年度当初にブロック内で交流内容について希望を出し合い、共有することで、年長児と1年生がともに楽しみ、親しくなれるような交流を実践することができた。
1年生は、自分たちが「お兄さん・お姉さん」として、園児たちにいろいろなことを教えたい、楽しませたいという気持ちを強くもち、交流会を開くにあたり、「どんなことをしたら園児が楽しめるか」「園児は何を知りたいのか」など、主体的に考え、活動する姿が見られた。5年生も、最高学年へ向かう気持ちの中で、しっかりとした責任感をもった交流ができた。
- ・園児も、実際の体験活動を通して学校を知る機会がもて、入学へのよいきっかけづくりとなったようである。

【課題】

- ・小学校と園との連絡がスムーズにとれるような方法があると連携がとりやすくなり、より充実した交流が行えるようになると思う。今後ブロック内で検討していきたい。
- ・「交流会」というような形や場を整えた交流だけでなく、小学校に園児が立ち寄ったり、小学生が園を訪れたりするなど、小学校と保育園がもっと気軽に触れ合えるような交流も行っていくことも今度考えていきたい。

H7.ブロックの取り組み



【小学校での交流】

- ・秋のもので作ったおもちゃで交流会
- ・音読劇の発表会
- ・学校内探検
- ・1年生の学校生活体験
- ・来年度6年生（現5年生）との交流
- ・パネルシアター（ブラックライトあり）
- ・凧あげ／手遊び／クイズ／絵本

【幼稚園・保育園での交流】

- ・保育園参観（小学校教員が園へ）
- ・園へようこそ

☆若葉保育園
☆境木保育園
☆あかひ保育園
☆初音丘幼稚園
☆仲よし幼稚園

☆権太坂小学校
☆境木小学校
☆瀬戸ヶ谷小学校
☆初音が丘小学校
☆境木幼稚園

成果と課題

《成果》

【1年生／5年生／教員】

- お兄さんお姉さんになれる機会となり、相手のことを思いながら考えて行動したり、声をかけたり、優しく接しようとするなど、成長する姿がみられた。
- 幼保の保育士・先生方の子どもたちへの対応の仕方など、勉強になった。
- 園児たちが、どんな経験をしてきているのか、どんな様子なのかなどを知れた。
- 架け橋期の指導が園と小学校でつながっていることを実感できた。

【幼稚園児／保育園児／教員】

- 小学校の環境や生活体験ができたことで、園児にとっては安心感につながった。
- 小学校は「勉強しかしない場所」と思っていたが、秋遊びなど「楽しいこともする場所」ということが分かり、期待につながった。

《課題》

- 日程、学級数、人数など様々な面で園と小学校間で調整するのが大変だった。
- 1年生だけでなく、5年生との交流も充実させる必要がある。